



令和5年度 第4回 新栄高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和6年3月7日（木）15:45～17:00

場 所：新栄高等学校 応接室

出席者：学校運営協議会委員6名（欠席1名）校長、副校長、教頭、事務長、各GL

次 第：

- 1 校長挨拶
- 2 令和5年度学校評価最終報告（各GL）

<p>(管理運営グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マニュアルの周知が十分でない部分は次年度に向けて徹底を図りたい。</li> <li>・みどり支援学校との連絡調整や合同訓練を次年度も充実させたい。</li> </ul> <p>(開発推進グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校広報活動と受検者増の相関については、調査を実施する予定である。</li> <li>・地域清掃等の貢献活動を今後も継続する。</li> <li>・PTA 活動の活性化や保護者との連携を強化したい。</li> </ul> <p>(学習支援グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリについては、1～3年生まで全て揃うので、3年生の選択科目配置検証を実施する。</li> </ul> <p>(生徒支援グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪・服装違反で指導を受ける生徒の数は減少している。</li> <li>・相談やケアの必要な生徒が増加しているので、サポート体制の強化を図りたい。</li> </ul> <p>(生徒会グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活加入率の増加を図りたい。退部する生徒が多いので手立てを講じたい。</li> <li>・東京横浜ドイツ学園との部活動交流を活性化したい。</li> </ul> <p>(進路支援グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧3年職員と新3年職員との情報交換会を実施した。専門学校希望者が減少し、4年生大学（指定校推薦）希望者が増加している。今年は宇都宮大学やMARCHに合格した。</li> <li>・生徒の進路に対する意識をいかに高めるかが課題である。</li> </ul>
---

3 質疑及び意見聴取

<p>Q 地域との防災協定はあるのか。</p> <p>A 自治体が指定する一時、緊急等避難場所の指定はあるが、災害時に本校に避難してくる地域住民がいれば、人道的に条件付きで受け入れる用意はある。</p>
<p>Q 災害発生時、交通機関が止まった場合、通信手段が失われた場合、生徒・保護者への対応はどうなっているのか。</p> <p>A 安全確保が図れるまで学校に停留させる。電話回線やSNS等の通信システムの状況により連絡を試みる。</p>
<p>Q 志願者増の理由を学校はどう分析しているのか。</p> <p>A 前年度落ち込むと次年度増えるという傾向がある。部活、進学率、学校広報の成果等が理由かもしれない。特別なことはしなかったが、学校説明会等の機会は、昨年より多く設けた。</p>
<p>Q 1人1台端末を利用した授業改善の状況について知らせて欲しい。</p> <p>A ipadを利用した調べ学習や情報共有、意見交換等をさらに充実させたい。</p>

☆委員よりの意見

- ・多文化教育の推進やみどり支援学校との連携は、生徒を豊かにしてくれる。
- ・ボツワナ、ドイツ、韓国等、多文化に関する取組は、組織的な取組になることを期待している。大学もサポートしたい。新栄高校から本学へのオープンキャンパス参加者は昨年比倍増した。ホームページに最新情報が発信されているが、生徒の声や生徒の変容についても記載があるとよい。
- ・受検者倍率が上がったことは、中学校の関心事でもある。中学生・保護者のニーズも把握し、さらに特色のある学校づくりを進めて欲しい。
- ・学校目標として、多文化教育を掲げるのであれば、組織としての取組にすべきである。在県生徒の進路保障については、支援の方策を具体的に考え、個々にきめ細かく対応して欲しい。
- ・多文化教育推進に参加した生徒の人数は全体の何パーセントくらいなのか。数値を見える化して、その推移を指標とするのがよい。
- ・防災避難訓練については、紙ベースのマニュアルに沿うだけでなく、予期しない状況にも対応できるよう備えるべきである。
- ・制服を変えたことで、生徒の質が変わったように思える。志願者増の原因となっているのではないか。
- ・教員の働き方改革を継続して欲しい。環境改善が教員のパフォーマンス向上につながるのではないか。
- ・地域住民の口コミ効果は大きい。良い方向に進めば、地域からの信用につながる。

第4回地域連携部会 16:50~17:00

☆学校より

- ・3月10日(日)第16回プラザまつりに、本校1,3年生が参加し、ボツワナとSDGsについての調べ学習をもとに、ボツワナ大使館員の面前で日本語、英語で発表します。
- ・全国高校生トートバッグデザインコンテスト2024で本校生徒作品が優秀賞を受賞した。